

2018 年度日本茶業学会発表会プログラム

場所: 島田市 プラザおおるり

日時: 2018 年 11 月 20 日

A 会場(3 階 大会議室) 病虫害・成分・経営

9:30 - 12:15

- A-1 交信かく乱剤によるチャノホソガ防除の試み
○福田健・松比良邦彦・中田恵久 1)・北原結花 1) (鹿児島県農業開発総合センター茶業部, 1)サンケイ化学(株))
- A-2 三重県茶産地のチャノコカクモンハマキにおけるジアミド剤およびジアシルヒドラジン系 IGR 剤に対する薬剤感受性
○田中千晴・内山徹 1)・野村茂広 2)・杉山佑介 2)・香村博之 3)・松ヶ谷祐二 (三重県農業研究所茶業・花植木研究室, 1)静岡県農林技術研究所茶業研究センター, 2)三重県中央農業改良普及センター, 3)三重県農林水産部)
- A-3 チャノコカクモンハマキのジアミド剤抵抗性系統作出による交差抵抗性の解明
○内山 徹・吉田達也・小澤朗人 1) (静岡県農林技術研究所茶業研究センター, 1)静岡県立農林大学校)
- A-4 放飼茶園の拡がりから推定したシルベストリコバチの分散様相
○松比良邦彦・福田健・宮路克彦 1)・山下雄太郎 2)・崎原敏博 3) (鹿児島県農業開発総合センター茶業部, 1)同センター徳之島支場, 2)大島支庁農政普及課, 3)南薩地域振興局農政普及課)
- A-5 二番茶期の被覆が病虫害の発生様相に及ぼす影響
○吉田達也・鈴木幹彦・内山徹・小澤朗人 1)・外側正之 2) (静岡県農林技術研究所茶業研究センター, 1) 静岡県立農林大学校, 2)静岡県農林技術研究所病虫害防除所)
- A-6 ドローン(マルチ回転翼型無人航空機)の空撮によるチャ病虫害被害の実態把握の試みー第3報 発生程度別マッピング画像の作成ー
○小澤朗人 1)・内山徹・亀山阿由子・大石哲也 2)・諏訪尚也 3)・鈴木静男 3) (静岡県農林技術研究所茶業研究センター, 1)現在, 静岡県立農林大学校, 2)現在, 世界緑茶協会, 3) (独)国立高専機構・沼津工業高等専門学校)
- A-7 多雨状況下における炭疽病等の効果的な防除法(第2報) 秋芽生育期の防除法①
○下津文宏・野中壽之 1) (鹿児島県農業開発総合センター茶業部, 1)鹿児島県経済連肥料農薬課)
- A-8 薬剤散布装置を積載した乗用摘採機による病害防除(炭疽病)の試み(第3報)
○鈴木幹彦・外側正之 1)・杉村佐久次 2)・澤村章二 2)・青山利治 2)・雪丸誠一 2) (静岡県農林技術研究所茶業研究センター, 1)静岡県病虫害防除所, 2)寺田製作所)
- A-9 異なるチャ品種におけるフラボノール含量に及ぼす茶期および栽培・加工法の影響
○吉田克志・物部真奈美・野村幸子・江間かおり・堀江秀樹・荻野暁子・山下修矢・根角厚司 (農研機構果樹茶業研究部門)
- A-10 高アミノ酸含有茶の成分と浸出特性
○鈴木利和・亀山阿由子・浅沼俊倫 1) (静岡県農林技術研究所茶業研究センター・1) 静岡県工業技術研究所)
- A-11 茶浸出液の高温保存下における成分・品質の変化
○山口幸蔵・中村典義 (佐賀県茶業試験場)

13:00 - 14:00 総会 (A会場3階 大会議室)

14:00 - 17:00

A-12

A-13 海外で収集した緑茶の化学成分

○堀江秀樹・江間かおり・杉本充俊 1) (農研機構果樹茶業研究部門, 1)日本茶輸出促進協議会)

A-14 緑茶の味質に関する調査ー5 テアニン等の味覚試験ー3

○對比地 信夫 (日本茶インストラクター, ATRL)

A-15 緑茶の味質に関する調査ー6 消費者から見た日本茶アワード

○對比地 信夫 (日本茶インストラクター, ATRL)

A-16 佐賀県産釜炒り茶の香気特性

○安達 翼・長谷川登志夫・山口幸蔵 1)・宮崎秀雄 1)・工藤健 2)・藤原隆司 (埼玉大学, 1)佐賀県茶業試験場, 2)埼玉県茶業研究所)

A-17 茶生葉との共溶解技術を利用した摘果ミカンからの高溶解フラボノイド含有食品等の開発

宮田裕次・中山久之・田中一成 1)・田中隆 2)・松井利郎 3)・○藤井信哉 (長崎県農林技術開発センター, 1)長崎県立大学, 2)長崎大学, 3)九州大学)

A-18 低カフェイン紅茶の試験開発研究

○岡本由希・石川香織・内山裕美子 1)・大森正司 1)・三森 孝 2)・原 征彦 3) (和洋女子大学, 1)大妻女子大学 お茶大学, 2)株式会社寺田製作所, 3) 茶研究・原事務所株式会社)

A-19 スキャナーを利用したてん茶の品質評価

○辻浩孝・白井一則 (愛知県農業総合試験場東三河農業研究所)

A-20 多変量解析を用いた府内産てん茶の化学成分のプロファイリング

○松浦健人・原口健司・大串卓史 (京都府農林水産技術センター農林センター茶業研究所)

A-21 固相マイクロ抽出法による抹茶の低沸点成分の分析

○水上裕造 (農研機構果樹茶業研究部門)

A-22 緑茶カテキンによる肝臓がん発生抑制臨床試験

○原 征彦・Fung Lung Chung 1) (茶研究・原事務所(株), 1) Lombardi Cancer Center, Georgetown Univ.)

A-23 「茶葉」の読み、「ちゃば」Xで「ちゃよう」○である理由の検討

○松尾喜義 (元野菜茶業研究所)

B会場(3階 第3多目的室) 育種・製茶

9:30 - 12:15

- B-1 楢円フリーエ記述子を用いたチャ葉形態情報の定量化
○山下寛人 1),2)・片井秀幸 3)・森田明雄 2)・一家崇志 2) (1) 岐阜大学大学院 連合農学研究科, 2) 静岡大学 農学部, 3) 静岡県茶業研究センター)
- B-2 チャの交雑育種における SSR マーカーを用いた雑種性解析技術の確立
○坂井佑輔・安田喜一 1) (福岡県農林業総合試験場八女分場, 1) 東海大学農学部)
- B-3 宮崎オリジナル発酵茶用品種育成における効率的な初期選抜方法の検討
○大木英幹・佐藤邦彦・高嶋和彦 (宮崎県総合農業試験場茶業支場)
- B-4 チャ品種サンルージュの挿し木発根性
○池田奈実子 (農研機構果樹茶業研究部門)
- B-5 煎茶用品種‘つゆひかり’と‘ゆめするが’のてん茶適性
○池田早希・片井秀幸・香田梨花 (静岡県農林技術研究所茶業研究センター)
- B-6 品種‘はると34’、‘なんめい’、‘せいめい’の玉露適性
○南家進吾・安田喜一 1)・井上梨絵・中園健太郎・堺田輝貴 2) (福岡県農林業総合試験場八女分場, 1) 東海大学農学部, 2) 福岡県農林水産部福岡の食販売促進課)
- B-7 静岡県茶奨励品種における長期被覆特性
○片井秀幸・池田早希・香田梨花 (静岡県農林技術研究所茶業研究センター)
- B-8 静岡県内における‘つゆひかり’生産者の実態調査
○香田梨花・望月和男 1)・池田早希・片井秀幸 (静岡県農林技術研究所茶業研究センター, 1) 静岡県経済農業協同組合連合会)
- B-9 覆い香を向上させたてん茶の開発
○小林利彰・勝野 剛・後藤 正 (静岡県農林技術研究所茶業研究センター)
- B-10 過熱水蒸気を活用したてん茶加工法の検討
○藤井 拓・小林利彰・勝野 剛・後藤 正・孕石利幸 1) (静岡県農林技術研究所茶業研究センター, 1) 株式会社 宮村鐵工所)
- B-11 高品質抹茶の効率的製造に向けた新型てん茶機の開発
○村上宏亮・川上知子・田川悟 1)・吉田芳隆 2) (京都府農林水産技術センター農林センター茶業研究所, 1) T P R 熱学株式会社, 2) 株式会社ヨシダ)

13:00 - 14:00 総会 (A会場3階 大会議室)

14:00 - 17:00

- B-12 低カフェイン和紅茶の製造方法
○原 征彦・三森孝1) (茶研究・原事務所(株), 1)(株)寺田製作所)
- B-13 生葉萎凋中の攪拌処理と紅茶品質
○後藤健志・山城梢・内藤孝 (沖縄県農業研究センター名護支所)
- B-14 香り高い紅茶製造を目的とした最適な殺青条件の検討(第1報)
○岩松昂志・高嶋和彦・伊藤昌志1) (宮崎総合農業試験場茶業支場, 1)カワサキ機工株式会社)
- B-15 ドラム式萎凋機に対応した香り高い紅茶製造法の開発(第1報)
○高嶋和彦・岩松昂志・伊藤昌志1)・岡田猛1)・畑英季1)・中嶋真也1) (宮崎県総合農業試験場茶業支場, 1)カワサキ機工株式会社)
- B-16 チャ主要品種を用いた粉末茶原料の色沢, から色と粉末色との関係
○内村浩二・長ヶ原智1)・飛松諒1) (鹿児島県農業開発総合センター茶業部大隅分場, 1)同茶業部)
- B-17 釜炒りてん茶および粉末茶における品種と品質の関係
○宮崎秀雄・中村典義・山口幸蔵・大塚直宏 (佐賀県茶業試験場)
- B-18 ドラムドライヤーを用いた粉末茶原料加工方法の検討
○脇坂 勝・谷河明日香・姫野孝彰1) (奈良県農業研究開発センター, 1)奈良県景観・環境局)
- B-19 品質と操作性に優れる遠赤外線と熱風を併用した火入れ機の開発
○高嶋和彦・瀬川幸三郎1)・瀬川幸継1)・佐藤邦彦 (宮崎県総合農業試験場茶業支場, 1)株式会社ドライアップジャパン)
- B-20 蒸熱程度による蒸葉電気伝導率の変化特性
○長ヶ原智・飛松諒 (鹿児島県農業開発総合センター茶業部)
- B-21 粗揉葉の電気抵抗(しとり値)を応用した茶葉水分状態の判別法
○飛松諒・長ヶ原智・堀田和弘1)・小塚 篤1)・中村義和1) (鹿児島県農業開発総合センター茶業部, 1)(株)寺田製作所)
- B-22 揉捻機の各含水率における最適な回転数と分銅位置
○梶岡怜史・山田龍太郎・水上智道・荒木琢也 (農研機構果樹茶業研究部門)
- B-23 揉捻工程による茎葉間の水分移動
○山田龍太郎・中村義和1)・今村健太郎1)・山内英樹1)・室園敏雄2)・向笠安行3)・永井唐九郎4) (農研機構果樹茶業研究部門, 1)株式会社寺田製作所, 2)室園銘茶株式会社, 3)向笠園, 4)株式会社中部プラントサービス)

C会場(1階 第1多目的室) 土肥・栽培

9:30 - 12:15

- C-1 全面施肥の継続が樹冠下土壌の化学性に及ぼす影響
○渥美和彦・小杉由紀夫 1)・若澤秀幸 2)・高橋冬実 2)・白鳥克哉 3) (静岡県農林技術研究所茶業研究センター, 1)日星コーポレーション(株), 2)静岡県農林技術研究所, 3)静岡県お茶振興課)
- C-2 石灰窒素施用と乗用型土壌反転機の組合せによる省力・環境保全的肥培管理法
○中村憲知・松元 順 1) (鹿児島県農業開発総合センター茶業部, 1)JA 全農肥料農業部)
- C-3 黒ボク土壌における有機栽培茶の硫黄含有率
○中村憲知・浅井淳也 (鹿児島県農業開発総合センター茶業部)
- C-4 無施肥栽培におけるチャ樹体及び土壌中の必須元素含量
○東島敏彦・野村幸代・平野剛史 (佐賀県茶業試験場)
- C-5 夏秋季の施肥配分の違いが秋芽および翌年新芽の生育に及ぼす影響
○平野剛史・野村幸代・東島敏彦 (佐賀県茶業試験場)
- C-6 牛糞堆肥施用量が異なるチャ幼木の生育および根系発達の品種間差
○中村典義・平野剛史・東島敏彦・野村幸代・野中一弥 1)・高木智成 2) (佐賀県茶業試験場, 1)伊万里農林事務所, 2)杵藤農林事務所)
- C-7 茶樹の断根処理後の再発根および根の呼吸活性における品種間差
○中村典義・平野剛史・東島敏彦・野村幸代・野中一弥 1)・高木智成 2) (佐賀県茶業試験場, 1)伊万里農林事務所, 2)杵藤農林事務所)
- C-8 ‘ゆたかみどり’と‘やぶきた’における有効積算温度による春期茶芽耐凍温度の予測
○浅井淳也・田中敏弘 1)・勝田雅人 2) (鹿児島県農業開発総合センター茶業部, 1)鹿児島県経済連茶事業部, 2)鹿児島県農業開発総合センター徳之島支場)
- C-9 低温馴化・脱馴化モデルに基づくチャ芽の耐凍性消長の予測
○木村建介・大木崇裕・安武大輔・北野雅治 (九州大学)
- C-10 2018年春先に牧之原台地北部で見られた茶園の青枯れ現象と回復経過の観察事例
○松尾喜義・佐波哲次 (農研機構果樹茶業研究部門)
- C-11 寒冷地における茶セル苗の生育特性
○高橋 淳・中島健太・後藤高秋 (埼玉県茶業研究所)

13:00 - 14:00 総会 (A会場3階 大会議室)

14:00 - 17:00

- C-12 新品種‘はると34’と‘せいめい’の大分県における栽培・加工特性
○榎野智也・奥本雄二・清原祥子 1)・伊藤玲央 2) (大分県農林水産研究指導センター農業研究部, 1)大分県園芸振興課, 2)大分県北部振興局)
- C-13 ‘せいめい’及び‘はると34’の被覆条件による粉末加工仕向用緑茶への適性
○丹羽努・田中千晴 1), 野村茂広 2) (1)三重県農業研究所 茶業・花植木研究室, 2)三重県中央農業改良普及センター)
- C-14 ‘べにふうき’の収量および化学成分に及ぼす被覆の影響
○吉田克志・荻野暁子・物部真奈美・野村幸子・江間かおり・堀江秀樹・山下修矢・根角厚司 (農研機構果樹茶業研究部門)
- C-15 被覆期間の長さが棚被覆はさみ摘みてん茶の成分プロファイルに及ぼす影響
松浦健人・○長田充洋・竹本哲行 1)・原口健司 (京都府農林水産技術センター農林センター茶業研究所, 1)京都府農林水産技術センター農林センター園芸部)
- C-16 一、二番茶の長期被覆が茶樹の生育に及ぼす影響(第2報)
○鈴木利和 (静岡県農林技術研究所茶業研究センター)
- C-17 茶園で使用する黒色寒冷紗の雑草防除における活用
○鹿子木 聡 (鹿児島県農業開発総合センター茶業部)
- C-18 中切り後の夏季整枝時期が翌年一番茶に及ぼす影響
○亀山阿由子・中野敬之 (静岡県農林技術研究所 茶業研究センター)
- C-19 晩秋期整枝茶園における予備整枝が翌一番茶に及ぼす影響
○忠谷浩司 (滋賀県農業技術振興センター茶業指導所)
- C-20 熱画像カメラを用いた樹冠面温度と整枝面残存病葉数の関係
○飯牟禮啓介・内村浩二 (鹿児島県農業開発総合センター茶業部大隅分場)
- C-21 チャ株生育促進のための電照方法の検討
○小熊光輝・中園健太郎 (福岡県農林業総合試験場八女分場)
- C-22 ロボット技術を活用した夜間の茶園管理技術
○深水裕信・浅井淳也・鹿子木聡・赤川博文・飯牟禮啓介 1)・加藤正明 2)・山崎淳一 2)・竹ノ内博司 2)・松元雄二 3)・今西浩二 3)・里中一富 3)・西 大介 3) (鹿児島県農業開発総合センター茶業部, 1)同茶業部大隅分場, 2)(株)日本計器鹿児島製作所, 3)松元機工(株))
- C-23 人口知能(AI)による新芽の生育ステージの客観的推定法 ～新芽の撮影角度が開葉数の推定制度に及ぼす影響～
○牧敬太郎・中野敬之 1) (富士通株式会社, 1)静岡県農林技術研究所茶業研究センター)